一般社団法人 兵庫県子ども会連合会

あそぼう

人と人、
人と社会をつなぐ

vol. 109

令和4年3月25日発行

育成会ノート

目次

P2～3▶子ども会に入ろう！
P4▶「令和３年度 兵庫県子ども会育成者大会」開催報告
P5▶「第８回兵庫県子ども会オセロ大会」開催報告
「日本の伝統の遊び・けん玉にチャレンジ！」開催報告
P6▶「子ども会でまなぼうさい」防災まちあるきレポート
P7▶プレイ・オブ・チルドレン（伊丹市活動記録報告）
P8▶ふるさとの森公園に行ってみよう！

子ども会の皆さまへ
このノートは

- かならず読んでください
- 日常活動で活かしてください
- ファイルに残してください
- 各戸回覧してください

発行　一般社団法人兵庫県子ども会連合会
神戸市中央区坂口通2-1-1　兵庫県福祉センター6階
TEL:078-221-4081　E-mail:hyogo@kodomo-kai.or.jp
https://www.kodomo-kai.or.jp/hyogo/

子ども会に入ろう

子ども会は 地域（まち）の未来をつくります!

子ども会は…

異年齢集団による仲間活動を通じて、子どもの全人的な発達を促すために、地域を基盤として組織された団体です。

特に遊びを中心とした体験活動や地域行事への参加を通して、子どもの社会性・協調性・ふるさとを愛する心を育む、社会教育団体・地域活動（まちづくり）団体です。

子ども会が育む2つの力

つながる力（人間関係力）
コミュニケーションを図り、仲間と生きる力

生きる力（問題解決能力）
地域や社会の問題を発見し、解決に挑戦する力

子ども会は こんな組織になっています!

現在兵庫県では、約3,300の単位子ども会が活動しています。そして単位子ども会を支える市・町の子ども会（約40）、ブロック子ども会（8）があります。

- 単位子ども会 A
- 単位子ども会 B
- 単位子ども会 C
- ○○校区子ども会
- ○○市・町子ども会（約40）
- ○○ブロック子ども会（8）
- **一般社団法人 兵庫県子ども会**
  〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通2丁目1-1
  TEL:078-221-4081
  URL https://www.kodomo-kai.or.jp/hyogo/
  - 兵庫県社会福祉協議会
  - 兵　庫　県
- 公益社団法人 全国子ども会連合会
  - 文部科学省（共済制度）
  - 内　閣　府

つながり 支え合う 仲間づくり

様々な体験活動を通して子ども達はたくましく健やかに成長します。

地域の組織や団体とつながり、仲間づくりをすることで、子ども会活動が正しく理解され、支援の輪も広がります。子どもが育つまちづくりや地域課題も地域のみんなで連携して取り組みましょう。

地域の自治会、老人クラブ、婦人会、スポーツや文化団体、青少年育成団体、学校、PTA、公民館、社会教育施設、お店や企業などに声をかけ活動仲間を増やしましょう。

地域のつながりや支え合い、仲間づくりも子ども会の役割です。

MESSAGE

「子どもたちと共に…」

一般社団法人　兵庫県子ども会連合会
理事長　安積 章仁

日頃は、兵庫県子ども会連合会の運営にご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

私が理事長に就任して、はや2期目に入ります。施策もトップにならないと、なかなか改革ができないことを痛感致しております。しかしながら、その中に於いても皆さんにも迷惑な新型コロナウイルスのお陰で世の中が一変し全てに於いて変化してまいりました。私達はこれを好機ととらまえて改革を推し進めて行く所存です。

まず初めに現在の体制についてですが、一昨年より前記を踏まえて事業検討委員会を立ち上げ「県子連」と言うもの自体の見直しから着手しております。現在は、その中に知識の豊富な人に、総務・事業の委員長についてもらい、全体の内容を管理できるようにし、より一層の効率化を目指しております。

次に、事業についてですが、恥ずかしながら高い座布団の上に胡坐を掻いて補助金と言う名のもとに、相手に一方的に行事を押し付け、成果のみを求めて来たことを反省し、その上で、昨年からは机上で物事を考えるのではなく、現地に赴いて地元の子ども達や指導者の皆さんと喜びを分かち合い、又は、我々の持っている手法等を伝授したり、逆に学ばせていただきながら、共生できる子ども会を目指して行きたいと思っています。

昨年は兵庫県、ＪＡ中央会の二団体と共に「きき米」を実施しました。また、ＪＦ（漁協）の開催する料理教室を視察したり、吉本興業とのコラボ等各種団体との合同事業にも力を入れており、これからも推し進める方針です。総会でも申し上げましたように、コロナを理由に簡単に行事を中止しないでください。努力をしていただき、どうしても断念しなければならないと言う所まで尽力した上で中止を検討していただきたい旨をお願いします。コロナとはこれからも長く付き合うようになると思いますので、この事は重々頭に置いていただき行事を行ってください。よろしくお願いします。

最後になりましたが、これから先に一番力を入れて行きたいのがＩＴ化です。事務手続き、行事等すべてに於いてこのことは強力に推し進めて行かなければと痛感しております。

まず、行事において現在のシステムでは、発信力の限界を感じております。印刷物の配布、駅構内等のポスターの貼付、会報誌等への刷込みを実施してみましたが、どれもコロナの時代には適さないとの答えが出ました。逆に吉本興業とのコラボで思い知らされたのがアプリを読み込み携帯・パソコンから情報・手続きができる方法が一番効果的で、一週間で100人と言う応募を達成できたという結果が残りました。以上のことを踏まえて今年度から県子連もアプリを導入して参りたいと思います。

事務についても皆さんにお手を煩わしております「安全会」の手続きのＩＴ化を少しづつ試験的に実施して参りたいとも考えておりますので皆様方の御協力をお願い致します。

一般社団法人　兵庫県子ども会連合会
副理事長　七條　勝

一昨年からの新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、国内でも未曾有の災禍に見舞われ、完全終息が未だ見えてこない状況にあります。

今後も常に感染対策への緊張感をもち、ふるさとの自然・文化に触れる醸成や人とのふれあいなど多彩な地域活動体験を継続・推進し、安全で安心して楽しめる環境整備を図る事業展開への取り組みを、しっかりと続けて参ります。

また、皆様方に於かれましては、日頃より家庭・学校・地域と手を携えながら子ども会活動を進め、更に安心し楽しめる活動の輪を広げ、子どもの成長を温かく見守るなど行事運営に奮闘されておりますこと、あらためて敬意を表し感謝を申し上げます。

今後も皆様方と、子ども会活動の振興・支援制度等への取り組みを着実に続けて参りたく存じます。なお一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

不安な状況が一日も早く解消され平穏な日々が戻ります様に、皆様方のご健康とご多幸、より一層のご活躍並びに、次年度が素晴らしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

一般社団法人　兵庫県子ども会連合会
副理事長　太田 はるよ

コロナ禍で様々な行動に制限がかかるようになって2年余り…子どもたちの「心」「身体」がグッと成長する時期に、大人になるまでに必要な「体験活動」が激減しました。その代わりにＩＴ社会には必要なタブレットが一人一台与えられ、リアルな関係にて育まれる「自分で考え・決める」「考えを言葉にする」「言葉を伝わるように伝える」等が阻まれているような気がします。社会状況は変わっても子どもたちは何ら変わりません。「サードプレイス」である「子ども会活動」も然りです。世の中の価値観やスタイルが変わりつつある今だからこそ、大人も「～でなければならない」という枠組みを外し、「子どもたちにとって本当に大切なこと」や「子ども会」の存在の意義というものを真剣に考え「挑戦する心」をコアに持ちながら、思考を止めずに更に進化していきたいと思います。

左から副理事長 七條 勝 ・ 理事長 安積章仁 ・ 副理事長 太田はるよ

【兵庫県子ども会育成者大会】を開催しました

11月13日（土）
神戸クリスタルホール（神戸市中央区）にて

参加型講演会の様子

「今、子どもたちに必要な体験とは～コロナ時代の育つ場のつくり方～」をテーマに、【兵庫県子ども会育成者大会】を開催しました。参加型講演会では講師（NPO法人生涯学習サポート兵庫　理事長　山崎 清治 様）の問いかけについて、参加者がグループになって、意見を交換し合いました。時には遊びも交えつつ、リラックスした雰囲気の中で、コロナ禍での子どもとの関わり方、子どもにとって本当に大切なことは何か、を真剣に考える機会となったのではないでしょうか。講師のお話は、様々な事例を基にわかりやすく、笑いあり、感動ありの素晴らしい講演会でした。

併せて、県内子ども会活動の推進に当たる指導者・育成者や他の子ども会の範となる活動を行っている単位子ども会に対し、その業績を称えることを目的として、個人（21名）、団体（５団体）の表彰式を行いました。

表彰受賞者の皆様で記念撮影

子どもに考える力を

主体的な遊びなど紹介

講演に60人

神戸

新型コロナ禍で子どもたちの集団活動の機会が減る中、子どもに必要な体験について考える「県子ども会育成者大会」がこのほど、神戸市中央区東川崎町1の神戸クリスタルホールであった。県子ども会連合会の主催。青少年活動の関係者ら約60人が参加し、講演に耳を傾けた。

コロナの影響で、恒例行事を中止する子ども会は多い。講演では、無人島1週間生活などのさまざまな教育プログラムを企画するNPO法人「生涯学習サポート兵庫」（姫路市）の理事長、山崎清治さんが登壇。じゃんけんを応用した手遊びなどを交え、主体的な遊びや共感する体験の大切さを伝えた。

子ども一人一人に関わる大人は減る傾向にある。山崎さんは「どうしたらいいと思う？」「おっ、頑張れ」など、子どもの話を聞く時の姿勢や声の掛け方も紹介。「時代は変われど、自分で考える力を身に付けることが子育ての最終目標。不安や不満などを先回りして取り除き過ぎないであげて」と強調した。

大会では、子ども会活動を進める人や団体への表彰式もあった。同連合会理事長表彰を受けた荒木恵美子さん(53)＝西宮市＝は「子育て中の親をサポートしたいと改めて感じた」と話した。（貝原加奈）

今、子どもに必要な体験とは
～コロナ時代の育つ場のつくり方～

じゃんけんを応用した遊びで、子どもに必要な体験を伝える山崎清治さん＝神戸市中央区東川崎町1

神戸新聞　令和３年11月16日(火)付　朝刊

令和３年度兵庫県子ども会育成者大会について、神戸新聞にて記事に取り上げていただきました。

後援	兵庫県、兵庫県教育委員会、社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会、公益財団法人 兵庫県青少年本部、公益社団法人 全国子ども会連合会

「第8回 兵庫県子ども会オセロ大会」を開催しました

12月12日（日）兵庫県福祉センター（神戸市中央区）にて

昨年度は残念ながら中止となった同大会でしたが、今年度は無事開催することができました。各地域から38名の選手が参加。皆さんとても真剣にオセロ盤を見つめ、対戦中は石を打つ音だけが会場に響き、緊張感あふれる中、熱戦が繰り広げられました。

勝った時の嬉しそうな顔、負けた時の悔しそうな表情。この日の為に、一生懸命準備を重ねてきた子どもたちの頑張りと、見守ってくださったご家族に、心から拍手を贈ります。

２年ぶりの優勝者は低学年の部、高学年の部ともに加東市から参加の選手でした。おめでとうございます！！

新型コロナウイルス感染症の収束が未だに見えず、やむなく規模縮小での大会でしたが、2022年度には、盛大に開催できることを祈っております。

「日本の伝統の遊び・けん玉にチャレンジ！」を開催しました

２月19日（土）アステホール（川西市）にて

伊丹けん玉クラブ代表の植西和義さんを講師にお迎えして、近年人気の高まっている「けん玉」の体験会を開催しました。日本で古くから伝わるけん玉は、たくさんの技と「できた！」と達成感を味わえることで、国や世代を超えて親しまれています。

当日も小学生の親子が一緒になり、けん玉の歴史や、いろんな形をしたけん玉に触れ、その奥深さに関心を深めていました。体験では、簡単な遊びから難しい技まで、皆さん夢中になってチャレンジ！あちらこちらで笑顔が広がり、暑い暑いと薄着になる子も。

伊丹けん玉クラブ所属・全日本チャンピオンの山本朱莉（しゅり）さん（中３）と蒼大（そうた）さん（小６）姉弟による素晴らしいパフォーマンス披露もあり、会場は大きな拍手に包まれました。

電気もいらない・いつでもどこでも・一人でも楽しめるけん玉。実はバランス感覚や体幹トレーニング、集中力アップといいことづくめ！県子連ではこれからも「けん玉キッズ」をどんどん増やしていきます！みんなで一緒に楽しみましょう！！

※この事業は「令和３年度ひょうごっ子・ふるさと塾」助成事業です。

子ども会でまなぼうさい 防災まちあるきレポート

【防災まちあるき】とは?

自分たちの暮らすまちを歩いて回り、地図上に防災の観点で気づいたことなどを落とし込んで発表し合います。地震や洪水、火災の発生など、さまざまな災害が予想されますが、防災まちあるきを行うことで、住んでいる地域の避難場所や、消火栓、倒壊する可能性のある建物などを把握しておくことができます。子ども会の防災まちあるきで、自分たちのまちの発見や気づきを、これからの安全安心な暮らしをにつなげましょう!

加古川市　9月19日(日)

加古川市少年団指導者協議会
会長　原　忠司

2021年9月19日まだ残暑の厳しい中、加古川市立野口公民館にて防災まちあるきが実施されました。

子供達は自ら考えて街中を探索し、同じ班員と協議して資料をまとめ最後に報告を行いました。

どの班も個性的で同じ施設や設備に関心を持ちながら各班独自の解説を行っていました。子供ならではの着眼点もあり大人も改めて考える良い機会になったと思います。

今回のまちあるきでは防災、減災の施設や設備など身の回りにある大切な物を再確認することができました。

丹波市　11月27日(土)

丹波ブロック子ども会連絡協議会
会長　小田 浩正

大きな河川と隣り合わせの集落という事もあり、やはり水害への意識が高い人が多く、また普段からそういった災害への備えができているまちだなと感じました。

まちのひとへのインタビューでは、そこに長く住み続けている方々に、危険な箇所等を教えていただき、実際にその場所を確認することで、子ども達もなぜその場所が危険なのか?どういった場合にその場所が危険なのか?すごく考え、いい経験になったと思います。

たつの市　10月23日(土)

西播磨子ども会連絡協議会　会長　佐伯　香

「たつの市防災まちあるき」を終えて

2021年10月23日(土)13時30分から『ひょうご安全の日推進事業』として、龍野小学校区内のたつの市中央公民館を拠点に「たつの市防災まちあるき」を実施しました。

参加者はコロナ禍と言うこともあり、子ども6名と保護者4名で参加人数は少なかったですが、グループ分けをファミリーにすることで親子で防災意識を高めることができたと思います。

また、各ファミリーには学生リーダーがお兄さん、お姉さんとしてサポートしていただいたことで楽しく学びを深めることができました。

今回の開催にあたり、事前にたつの市の危機管理課と相談し、防災食の提供などの協力やこの年に発足したたつの防災士の会との繋がりができたことはとても良かったです。

近年の子どもの人口減少や子ども会未加入に伴う子ども会会員数が減少するなか、また、多様化の時代に沿った持続可能な子ども会活動にするために見直しをしていく必要があると感じています。毎年、どこかで災害が発生していることを考えれば、この「防災まちあるき」のような学びの活動を地域とともに行うことが大切だと感じています。

今回の活動をきっかけにたつの防災士の会の方々と協力し、活動の輪を広げていきたいと思います。

西宮市　11月28日(日)

西宮市子ども会連絡協議会　会長　川本 輝子

これからの時代を担う子どもたちに、楽しくまちを探検して、命や地域を大切に思うやさしい心を育む体験活動になるようにと願い、この事業を実施しました。

いつ何が起きるか分からない時代なので、子どもたちが学校に行っている時、家族がバラバラの場所にいる時など、いろいろなパターンを想定して、『災害だけではなく、何かが起こった時どうするのか』を家族で話し合い、分かるところに貼りだしておこうと思います。核家族の時代ですが、普段からの近隣との繋がりも大事だと感じました。

この活動が、まちでのより良い暮らしを考えるきっかけになればと思います。

おめでとうございます

～プレイ・オブ・チルドレン～
伊丹市子ども会連絡協議会から記録が届きました！

●紙ボール投げ　●輪ゴム飛ばし　●碁石運び　●じゃんけん勝負（2021.9.11開催）

No.	氏　名	学年	紙ボール投げ（メートル）	輪ゴム飛ばし（メートル）	碁石運び（個）	じゃんけん勝負（勝ち数）
1	三宅　章斗	4年	12	4	13	2
2	山本　怜奈	4年	8.65	5.5	16	1
3	林　空	4年	12.4	2.19	21	2
4	林　蓮	2年	12.4	1.37	11	0
5	林　悠	幼	3.25	0.93	14	第1位 5
6	安福　工晴	4年	12.3	3.85	9	3
7	安福　大輝	1年	8.8	3.75	22	1
8	安福　心亮	幼	5.6	1.03	4	3
9	浦上　蒼涼	4年	16.3	3.72	10	4
10	浦上　結衣	1年	8.2	4.7	19	1
11	岡本　拓実	5年	第1位 16.5	6.35	20	3
12	藤木　颯人	5年	11.7	第1位 7.77	20	1
13	高木　健太	6年	13.15	5.25	27	1
14	高木　悠希	5年	10.35	4.08	26	0
15	高橋　杏	6年	8	5.3	第1位 37	0
16	内田　蒼衣	6年	11	5.83	27	2
17	宮井　ななみ	6年	7.9	4.3	18	1
18	足立　楓夏	5年	13.7	3.82	31	2
19	林　麟太郎	3年	12.6	6.9	19	2
20	皆木　工武	幼	10.5	5.25	8	1
21	山下　鈴乃	5年	12.3	3.7	26	1
22	舛井　陽紀	4年	10.7	5.36	24	0
23	舛井　智輝	幼	7.25	1.3	0	3

●靴飛ばし（2021.10.30開催）

	幼稚園	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中学
第1位	前田 颯大 10.10m（北河原）	吉松 珠里 10.20m（北河原）	林 蓮 8.52m（桜ヶ丘）	林 麟太郎 17.83m（北河原）	林 空 10.45m（桜ヶ丘）	岡本 拓美 17.17m（北河原）	高木 健太 15.75m（北河原）	浅川 真穂 9.7m（北河原）
第2位	湯本 風助 9.23m（北河原）	東田 そよ花 7.15m（北河原）	森山 太馳 8.40m（桜ヶ丘）	前田 翔奏 11.40m（北河原）	浅川 亮真 13.30m（北河原）	足立 楓夏 15.00m（北河原）	高橋 杏 15.40m（北河原）	
第3位	河野 心優 5.20m（植松）	高瀬 歩香 5.80m（植松）	河野 心美 7.55m（植松）	五十嵐 丈太郎 11.39m（北河原）	浦上 蒼涼 10.90m（北河原）	藤木 颯人 13.40m（北河原）	渡辺 瑛太 14.00m（桜ヶ丘）	

プレイ・オブ・チルドレンとは

誰もが簡単に取り組むことができ、なおかつ県下全域で記録が競い合える個人競技や団体競技を「遊び（19の種目）」の視点で提唱することにより、子ども会活動の幅を広げ、子どもたちのやる気と自主性を養います。また、その記録を兵庫県子ども会連合会記録として認定することにより、地域子ども会の活動の充実を図ります。

ひょうごの自然を満喫！

ふるさとの森公園に行ってみよう！

ふるさとの森公園は県内６箇所にある自然豊かな里山公園です。
四季折々の動植物が観察できるほか、
各公園で **里山整備体験** **クラフト体験** **生き物観察** 等、
親子で楽しめるプログラムを多数実施しております。

開園時間 ９時～ 17時（入園料、駐車場無料）
※公園毎に、季節で閉園時間が異なる場合があります。

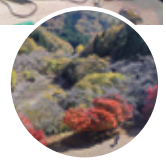
休 園 日 月曜日（祝日の場合は翌日以降の平日）、12月29日～１月３日

※プログラムは先着、予約制ですので、詳細は各公園にお問い合わせください。

様々ないきものたちが生息する豊かな自然と、
どこか懐かしい、里山の暮らしの風景が広がる公園

兵庫県立 **やしろの森公園**
TEL. 0795-44-1510
http://yashironomori.com/

八幡谷ダムのそばにあり
「里山の美しさ」「森の創造力」を実感できる公園



兵庫県立 **ささやまの森公園**
TEL. 079-557-0045
http://www.sasayamanomori.jp/

竹谷山沿いの渓流や翠明湖、北播磨の山並みが一望できる
尾根筋など、四季を通じて自然を満喫できる公園

兵庫県立 **なか・やちよの森公園**
TEL. 0795-30-0050
https://www.nakayachiyonomori.com/

通宝寺池を中心にして、300m前後の山稜に取り囲まれた
緑と水が豊かな里山の公園

兵庫県立 **ゆめさきの森公園**
TEL. 079-337-3220
http://yumesakinomori.server-shared.com/

四季折々、自然の中でのハイキングが楽しめ、
無料のミニモノレールもある公園

兵庫県立 **国見の森公園**
TEL. 0790-64-0923
http://www.kuniminomori.jp/

東の谷、西の谷、森林の３つのエリアに分かれ、
宝塚北部に残る里山の自然を生かした公園

兵庫県立 **宝塚西谷の森公園**
TEL. 0797-91-1630
http://nishitaninomori.jp/

子どもeye

間もなく新年度がスタートします。卒園・卒業、そして入学と、子どもたちの環境も大きく変わる春。期待と不安で、胸をいっぱいにしていることでしょう。それは見守るご家族もまた同じ。春は、子どもたちの成長の瞬間を間近で感じることのできる、大好きな季節です。しかし近年、新型コロナウイルス感染症により、その機会が減少し、更には世界情勢の悪化に伴い、子どもたちが犠牲になっていることに心を痛めています。次代を担う子どもたちが、安心して成長していける社会を築くために、今こそ国を超えてすべての大人が手を取り合うことを願って「育成会ノートvol. 109」をお届けします。